

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	延岡市 (45203)
地域名 (地域内農業集落名)	東海地区 (平田集落、中原集落、小梓集落、寺島集落、恋島集落、無鹿集落、牧集落、柚の木田集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	170.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	165.5 ha
② 田の面積	148.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	22 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	44.1 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	129.8 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	7 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農地の区画や道路の幅が狭く、一部の農地では高低差が顕著で用水の確保が困難となっている。そのため、大型農業機械の導入や高生産性農業の展開が困難であり、市内最大規模の穀倉地帯でありながら、その地域特性を生かせていない。効率的な農業をしていくためにも、農地の大区画化や集積・集約化が必要。
地域の農業者の高齢化に伴い、新たな農地の受け手の確保が急務。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻を主要作物としつつ、裏作や収益性の高い野菜等への転作にも積極的に取り組む。野菜等については農業を担う者を含めて栽培方法を確立し、農家所得の向上を図る。また、ほ場整備事業を行うことで認定農業者を中心とした地元の農家への集約化を進め、経営規模の拡大および経営体質改善を図り、農業生産の合理化と営農条件の向上等、近代化農業に対応しうる基盤づくりを目指す。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクを活用し、担い手(認定農業者等)に農地を集積・集約化する。また、担い手の農作業に支障がない範囲で、担い手以外の農業者にも農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	13	%	将来の目標とする集積率
			17.4 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手への農地面積の集約化を進め、団地数の半減および団地面積の拡大を進める。(令和16年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地利用最適化推進委員や機構の駐在員らと連携し、認定農業者や認定新規就農者を中心に段階的な農地の集積・集約化を進め、団地面積の拡大を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
行政や関係機関と連携して農地バンクへの貸付けを積極的に行い、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員および機構の駐在員らと調整し、所有者の貸付け意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
地権者の同意を取得し、農地の大区画化、用排水路の改修および構築物の整備(水門等)、暗渠排水による乾田化などのほ場整備事業を実施する。整備計画の策定にあたっては、土地改良区や行政と連携して取り組み、できる限り地元負担を抑えた補助事業の採択を目指す。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
行政やJAと連携し、認定農業者や将来の担い手として期待される新規就農者をはじめとする多様な経営体について、地域内外から募集する。また、必要に応じて栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援や農地を斡旋し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内の農作業効率化のため、必要に応じて稲作に係る一連の作業を川原農園株式会社、水稻の育苗及び乾燥、粃摺り作業は延岡地区粃すり業組合に委託する。また防除作業は延岡スカイサービス株式会社に委託することで、担い手の負担を軽減し、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して地区内の農地全域にワイヤーメッシュ柵を設置する。設置にあたっては、効果的な施工になるように行政や関係機関と相談しながら整備計画を立てる。
- ③スマート農業を取り入れ、ドローンによる牧草等の播種、防除作業、肥料散布等を実施することで作業の効率化を図る。
- ⑧担い手の営農計画や利用状況などを考慮し、農業機械の共同利用等のため、農業用施設の集約化を進める。
- ⑨【農地シャッフル会の実施】担い手の効率的な営農を実現するため、行政と連携し、農地のシャッフル(農地の交換)を進めることで経営農地の集約化を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	34経営体		50.5 ha	30 ha		94.6 ha	30 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	川原農園株式会社	稲作に係る一連の作業	水稻
2	延岡地区 粃摺り業組合	育苗、乾燥、粃摺り	水稻
3	延岡スカイサービス 株式会社	防除作業	水稻等

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		水稲、飼料用米、きゅうり	6.4 ha	0 ha	水稲、飼料用米、きゅうり	7.8 ha	0 ha	認農1	
2	認農		水稲、飼料用米、イチゴ	8.3 ha	30 ha	水稲、飼料用米、イチゴ	14.7 ha	30 ha	認農2	
3	認農		水稲、飼料用米、施設野菜	7.2 ha	0 ha	水稲、飼料用米、施設野菜	6.9 ha	0 ha	認農3	
4	認就		施設野菜	0.2 ha	0 ha	施設野菜	0.2 ha	0 ha	認就1	
5	利用者		水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	11.4 ha	0 ha	利用者1	
6	利用者		水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	5.9 ha	0 ha	利用者2	
7	利用者		水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.2 ha	0 ha	利用者3	
8	利用者		水稲	1.2 ha	0 ha	水稲	2.5 ha	0 ha	利用者4	
9	利用者		水稲	1.3 ha	0 ha	水稲	3 ha	0 ha	利用者5	
10	利用者		水稲	4.2 ha	0 ha	水稲	5.3 ha	0 ha	利用者6	
11	利用者		水稲	1.7 ha	0 ha	水稲	2.8 ha	0 ha	利用者7	
12	利用者		水稲	0.4 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者8	
13	利用者		水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者9	
14	利用者		水稲	1 ha	0 ha	水稲	1 ha	0 ha	利用者10	
15	利用者		水稲	0.7 ha	0 ha	水稲	1.3 ha	0 ha	利用者11	
16	利用者		水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者12	
17	利用者		水稲	1.1 ha	0 ha	水稲	0.2 ha	0 ha	利用者13	
18	利用者		水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.6 ha	0 ha	利用者14	
19	利用者		水稲	0.4 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	利用者15	
20	利用者		水稲	1 ha	0 ha	水稲	1.1 ha	0 ha	利用者16	
21	利用者		水稲	3.6 ha	0 ha	水稲	12.3 ha	0 ha	利用者17	
22	利用者		水稲	0 ha	0 ha	水稲	0.6 ha	0 ha	利用者18	
23	利用者		水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.4 ha	0 ha	利用者19	
24	利用者		水稲	0.7 ha	0 ha	水稲	0.9 ha	0 ha	利用者20	
25	利用者		水稲	1.2 ha	0 ha	水稲	1.8 ha	0 ha	利用者21	
26	利用者		水稲	1 ha	0 ha	水稲	1.4 ha	0 ha	利用者22	
27	利用者		水稲	1.2 ha	0 ha	水稲	1.4 ha	0 ha	利用者23	
28	利用者		水稲	0.6 ha	0 ha	水稲	3.2 ha	0 ha	利用者24	
29	利用者		水稲	0.2 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	利用者25	
30	利用者		水稲	1.3 ha	0 ha	水稲	2.5 ha	0 ha	利用者26	
31	利用者		水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	利用者27	
32	利用者		水稲	0.9 ha	0 ha	水稲	1.6 ha	0 ha	利用者28	
33	利用者		水稲	0.2 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者29	
34	利用者		水稲、飼料作物	1.7 ha	0 ha	水稲、飼料作物	1.3 ha	0 ha	利用者30	